

メイトルのつばやき No.5



《 樹木の新年 》

あけましておめでとうございます！今年も皆様にとって素敵な年でありますように…。お正月休みは楽しく過ごせましたか？おせち料理食べ過ぎてないでしょうか？体重が少し増えてしまったという方もいらっしゃるんじゃないでしょうか。日本の冬の寒さはこれから、まだまだ続くようですね。我が家にも、もちろん炬燵があります。この時季、私は炬燵に入ると、とてもいい気分になります。皆さんも同じですよ！

イスラエルの冬は、地域によっても気温は異なりますが、日本の冬ほど寒くはないです。ここ数年イスラエルの冬は温暖化の傾向と言われています。毎年この時期、イスラエルの人々は恵みの雨をお祈りします。私もここ八百津からお祈りを送ります。ユダヤ教では2月は春の新年の始まりとされています。イスラエルでは「樹木の新年」というお祭りがあり、お祝いします。この頃、イスラエルでは冬の季節が峠を越え、雨季の到来と共に、樹木や草花が芽生える時季です。“樹木が新生する日”とでも言ったらいいのでしょうか。そしてこの時季は、桜によく似た“アーモンドの木”の花も満開になります。アーモンドの木は樹木の新年の象徴とされ、イスラエルの春の使者とされています。2月から3月にかけてピンクの美しい花を咲かせ、小さなモモのような実を実らせます。でも見た目とは違い、実の皮はとても固いです。



アーモンドの花

ユダヤ教の伝説によれば、人間の体にはアーモンドの実のような小さくて固い骨があります。この骨は、例え火の中へ入れても燃えず、壊れないと言われています。そのためにあるユダヤ人の指導者はユダヤ民族をアーモンドの実に例えます。なぜならユダヤ民族も様々な困難に直面しても決して諦めることなく生きてきたからです。

イスラエルでは、「植樹の日」として、皆で野山に木を植えます。イスラエルの人々は国土を愛しています。何かの記念日には必ず木を植えます。そのためイスラエルの街は緑に満ちています。今も全世界のユダヤ人に呼びかけて植樹の基金を募っています。募金をするこ

と海外に住むユダヤ人が故郷との連帯感を深めることに貢献しているのです。また、「樹木の新年」では、ナッツやドライフルーツを食べる習慣があり、店頭では新鮮でおいしいドライフルーツがたくさん並びます。ナツメヤシ、パイナップル、いちじくなど、色とりどりのドライフルーツを見るだけでもとても楽しくなってきます。

イスラエルの冬を象徴する花はいくつかあります。アネモネ、キンギョソウ、スイセン、シクラメンです。この中でシクラメンについてお話ししたいと思います。12月頃から日本でもシクラメンが花屋に並ぶと思います。イスラエルでも1月～2月にかけて花屋に並ぶ定番の花です。とても可愛い花だと思います。



シクラメン

シクラメンは、ヘブライ語で「ラケフェット」と呼ばれます。また、「ソロモンの冠」というニックネームを持っています。ある伝説によると、昔々ソロモンというイスラエルの王様は自分の好きな冠になるような花を探していました。大地の花々が自分たちの花冠を売り込みました。王様は花がとても好きだったので、なかなか気に入った花冠がありませんでした。王様はうつむき大地をさまよい歩きました。その時、岩陰に咲いているシクラメンを見つけました。ソロモンの王様は、けなげに岩陰に咲いているシクラメンにとっても感動しました。彼は「王冠にふさわしいものを見つけたぞ」と人々に言いました。こうして王冠はシクラメンを象ることになりました。

さて、3月12日に八百津町のプーリムカーニバルを開催します。プーリムというのは思い思いに仮装して皆で一緒に楽しめるイスラエルのお祭りです。プーリムのお話をしたり、ラーシャン（ガラガラ）の簡単な手作り工芸や仮装パレード、仮装コンテストなどを行なう予定です。もちろん子どもたちだけのお祭りではありません。八百津の町民の皆さん、是非お祭りの雰囲気を楽しんでください。詳しくは2月4日のお知らせ版をご覧ください。

本年が皆様方にとって幸多い年でありますようご祈念申し上げます。本年もよろしくお祈りします。